
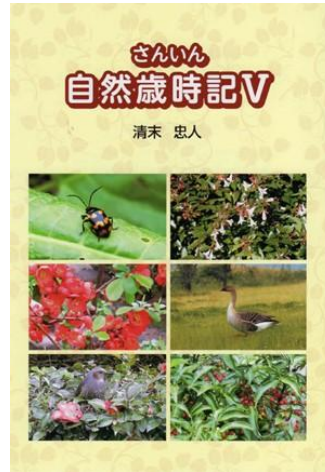
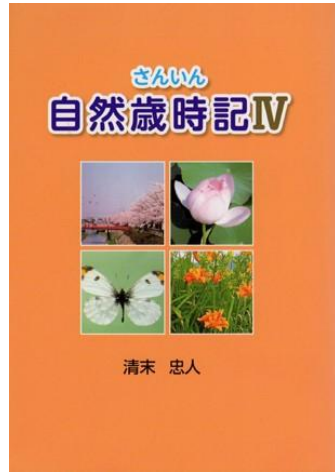


平成 29 年度 とっとり環境教育・学習アドバイザー 報告書 【公開用シート】

(ひらがな) 氏 名	(きよすえ ただと ) 清末 忠人	
職業・所属 肩書き等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取自然保護の会会長・鳥取生物友の会会長</li> <li>・NHK 文化センター講師</li> <li>・市立遷喬・稲葉山小学校非常勤講師（理科、生活科）</li> </ul>	
行政委員・審議 会等の就任状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取砂丘検定実行委員会委員</li> <li>・湖山池環境モニタリング委員会委員</li> <li>・天然記念物キマダラルリツバメチョウ生息地調査委員会会長</li> </ul>	
活動可能な日程	空いているならいつでも可	
活動可能な地域	鳥取県全域	
プロフィール	<p>昭和 6 年生まれ、鳥取市元町在住。鳥取大学学芸部卒業、小学校教諭。東京教育大学理学部に内地留学、植物分類学を専攻。鳥取県立博物館学芸員、学芸係長、鳥取市立富桑小学校校長、鳥取県教育センター所長、鳥取市美保小学校校長を歴任、退職。鳥取大学、鳥取女子短期大学の非常勤講師を勤め、現在、鳥取生物友の会会長、鳥取自然に親しむ会会長、鳥取県博物館協会理事、NHK 鳥取文化センター講師、黒住教鳥取大教会所名誉所長、荒木神社宮司。</p> <p>昭和 60 年わかとり国体で昭和天皇に主に山陰の貝類について進講。平成 3 年鳥取県出版文化賞受賞。平成 3 年理科教育・社会教育で鳥取県教育委員会より教育表彰受賞。平成 9 年鳥取市文化賞受賞。平成 11 年鳥取県文化賞受賞。平成 11 年全国育樹祭で皇太子ご夫妻に里山の自然について進講。平成 16 年瑞宝双光章受章。平成 22 年黒住教天心衆允可。平成 25 年全国緑化祭で秋篠宮、同妃両殿下のご説明をおつとめする。平成 27 年鳥取県文化功労章知事表彰を受賞。</p>	
主な活動分野	自然の保護	
活動への思い、 メッセージ等	自然と人、地球に存在してからずっと縁が切れない。しかし、お互いの信頼関係は果たしてこのままでよいのか。	
代表的なテーマ での講演等の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：自然は面白い      ・対象：一般</li> <li>・目的：自然界の不思議にふれ、それと人々がどうかかわって来たか</li> <li>・指導の流れ</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欧米と日本の自然認識の違いから人と自然の共存・共栄を学ぶ</li> <li>2. 生物にまつわる文学から、日本は古来から自然と共にあったことを学ぶ コウボウムギ、コオロギとキリギリス、など</li> <li>3. それってほんと、それともうそ：アサガオとじゃがいも、など</li> <li>4. 悲話：テイカカヅラと藤原定家、鳴いて血を吐くほととぎす</li> <li>5. 楽しい実験：ドウダンツツジの灯台、イスノキの笛、タラヨウの葉書、など</li> <li>6. 自然に親しみ自然と共に生きるカビだってフグの毒だって、使い用によれば人を助け、人を生かす。自然の営みをじっくりとみつめて人は何をなすべきかを考える時が来ているのではなかろうか。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者からの感想等</li> </ul> <p>自然を違う角度で見ることの大切さを教えていただきました。 生物的な知識だけでなく、事象にまつわる文化的な話が聞けて大変勉強になった。</p>	

【著書】

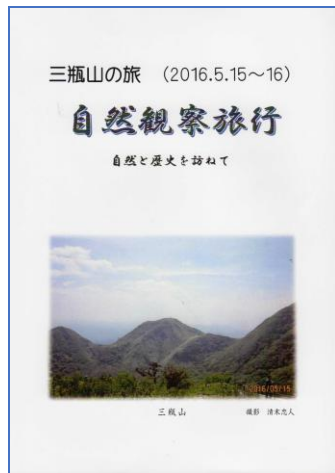
ふるさとの生物、さんいん自然歳時記（正・続・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ）、子どもと雀、ヒマワリの花はまわるの？、鳥取砂丘の生きもの、自然はともだち、ネムノキは眠るの？、わたしの歩み清末忠人研究集録、自然と教育を語る など



主な著書

【共著】

郷土のすがた、智頭町の自然、久松山の史跡と自然、ふるさとの美と心、鳥取・岩美・八頭ふるさと大百科、鳥取砂丘の生き物、自然観察旅行 など。



その他の活動

指導助言などは、改まってするよりも常時訪問し、また電話等で行っている。